

---

# 秋風

穂乃香

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

秋風

### 【ZPDF】

N1909P

### 【作者名】

穂乃香

### 【あらすじ】

厨一病小説です……（汗

## 一風

8月18日 PM03:28

「はあ、そなんですか。」

外はよく晴れている。窓から流れ込む風が、ねばねばしく私の腕に絡み付く。

「…はい。せいぜい、あと1週間の命でしょ。」

…やつぱりね、前からそんな気はしてた。医者が私を見る日が、同情を含むようになっていたから。

…いつからだっけ。確か一ヶ月前くらい。

つてことは、この人そんな前から知っていたんだ。何も知らない私を見て、楽しんでたのかな。…多分違う。こんな人はそんなことをできるタイプじゃないもの。

にしても、この先生もよく他人のことに哀しそうにドヤるよね。もしかして、毎回こんなに悲しんでんのかな?、いくら医者だといって…。患者の意思は関係なしに、作られた『嘘の寿命』まで生きさせるタイプだな。…まあいいや、早く帰りたい。

「じゃあ帰つても…」

「ですが…まだ可能性はありますよ…少し値は張りますが…」

「いいです。どうせ点滴とか薬で1週間かそこら寿命を伸ばすだけ

ですよね？それとも、生死の間をわざよつんですか？……そんなお金、私にはないです。大体、この病気つて楽に死ねられるんですよ。いいじゃないですか、それで。長く生きれたけど苦しみながら死ななきゃいけないのより、短く生きて楽に死ねたほうがいいと思います。」

「……あなた、生きたいとは」

「はつをつ言つて、思ひません。では、それだけなので。失礼します。」

「あつ！……ちょっと待つてください。どうしてそんなに生きることを嫌うんですか？」

思いがけない一言に、私は思わず歩みを止めてしまつ。

「…………あなたには関係ないでしょ……」

それ以上追求されるのが嫌で、返事も聞かずには部屋を飛び出した。

いきなり部屋を飛び出した私に少し驚きながらも、後を追おうとはしない看護士。……偽善者。

見掛ける全ての人々が、私のことを噂しているように思えた。

やつと着いた。私のちつぽけな家。ひとりでゆつくりできる、唯一の場所。疲れた体を癒すため、私は深い眠りについた。……



## — 風 (後書き)

ぐわがわがわです

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n1909p/>

---

秋風

2010年12月22日20時46分発行